

13. 事業名「オータムラーニングキャンプ in 夜須高原」

1 事業の必要性

「子供の貧困対策に関する大綱」（平成26年8月29日閣議決定）を踏まえ、困難な環境にある青少年を対象に、規則正しい生活習慣や自立する力を身に付けるための事業を実施する主体者として、独立行政法人国立青少年教育振興機構が設置する国立教育施設において、主に母子家庭等ひとり親の子供たちとその母親を対象とした体験活動の場を提供する。また、ひとり親家庭が故に不足しがちな多様な体験活動の機会を提供することで、自己肯定感の向上、生活習慣の改善等につなげ、親子ともにこれからの豊かな生活づくりのきっかけとする。

2 趣 旨

- ・ひとり親家庭の生活の向上に寄与するため、子育てに関する現状や悩み、家庭で大切にしていることを共有し合い、互いに学びを深め、ネットワークづくりを行う。
- ・自主学習を中心に、切磋琢磨しながら互いに学び合い、学力の充実を図るとともに自然体験活動・生活体験活動を通して豊かな心の育成（コミュニケーション能力、自立心、協調性、自己肯定感の向上等）及び生活習慣の向上を図る機会とする。

3 事業の特色

- ・福岡県母子寡婦連合会が行っている「ひとり親家庭のための学習支援ボランティア事業」と連携しての取組として実施し、中学生とその保護者を対象としたキャンプを通じて子供たちの学力の充実（進路保障）に取り組んだ。
- ・学習時間は十分確保しながら、親子で自然体験活動（林間ボブスレー・ナイトハイク）を実施し、親子の触れ合いの時間も確保したプログラムを設定した。
- ・子どもたちの学習の時間を利用して、母親と県母子寡婦福祉連合会との保護者懇談会を実施し、日常の子育てに関する現状や悩み、進学に関する情報等を共有し合い、学び合いを通して今後の生活の向上の機会とした。

4 期 間 平成28年10月29日（土）～10月30日（日）1泊2日

5 企画・運営のポイント

- ・県母子寡婦福祉連合会と連携を図りながら、子供たちの学力の向上につながるよう、学習内容を組み立てた。具体的には県母子寡婦福祉連合会が実施している「学習支援事業」を活用し、学習支援ボランティアの先生方も多数参加していただき、じっくりときめ細やかに学習に取り組める体制を整えた。
- ・県母子福祉連合会の事務局の方々にも参加していただき、母親懇談会の進行役となり保護者の学びが充実するよう努めた。

6 成 果

- ・参加者が小6～高1までに増えたことで、様々な活動において仲よく楽しく実施できた。活動の間は全員でスポーツを行う等和やかな雰囲気の中、笑い声がたくさん見られた。子供たちの感想から「勉強も遊びも楽しかった。」という声を始め、「みんなと協力する活動もあり、友達と仲良くなるきっかけとなった。」など本キャンプに対する肯定的な意見が多かった。
- ・以前から知り合いの子供が数名いたが、ほとんどは初めて出会う子供たちであった。それにもかかわらず、すぐに打ち解け以前から知り合いのように仲よくできていたことに驚いた。子供たちのコミュニケーション力の高さにたくましさを感じた。
- ・保護者の学びの時間、保護者同士の情報共有の時間を確保できたこと、またクラフト活動（焼き杉コースター）の体験活動等、保護者にとってもよい機会となった。

7 課 題

- ・学習支援ボランティア事業と連携して実施しているため、子供たちの「学び」活動における実施主体は連合会となる。学習ボランティアの講師陣はキャンプ当日に初顔合わせとなるため、事前打ち合わせが十分できず、役割分担や運営の仕方等がスムーズにできにくい状況であった。
- ・子供たちの学力の実態把握が十分できず、個別の能力に応じた教材の準備ができにくい状況であった。・受験を控えている中3に合わせた学習時間を設定していたが、中1・中2にとっては時間が長く、集中力が続かない生徒もいた。

プログラム・日程

		9:30	10:00	10:30	12:30	13:15	16:00	17:00	17:30	20:00	21:30	22:00			
10/29 (土)	バスにて迎え (大野城市・飯塚市)	受付	開 講 式 ※	学 び ① ※1	昼 食	学 び ② ※2	自 由 時 間	つ ど い	入 浴	夕 食	ナ イ ト ハ イ ク	就 寝 準 備	消 灯		
※：開会式後、オリエンテーションを実施。 ※1：保護者及び事務局は別室で情報共有（自己紹介、就学支援金や種々の制度、支援のあり方等について） ○「ナイトハイク」に関しては親子とも参加。（雨天時：ニュースポーツ） ※2：保護者及び事務局は別室で懇談。 ※3：保護者及び事務局はL1教室で「焼き杉体験」を実施。 ※4：保護者及び事務局は情報交換会・グループワーク等（まとめ交流）を実施。															
		6:00	7:00	8:00	9:00	12:00	13:00	15:00	15:30						
10/30 (日)	起床・洗面	つ ど い	朝 食	点 検	学 び ③ ※3	昼 食	学 び ④ ※4	閉 講 式	バスにて送り (大野城市・飯塚市)						

活動の様子



[開会式 (オリエンテーション)]



[学び① (学習風景)]



[先生方と楽しく会食]



[天体観測]



[保護者の学びの様子]



[焼き杉体験]

参加実績：(小学6年生1名、中学1年生5名、2年生5名、3年生3名、高校1年生1名、保護者5名、学習支援ボランティア8名、事務局6名 計34名)

[参加中学生の感想]

- ・「初めて会う人が多い中、勉強も遊びも楽しかった。」
- ・「勉強が多かったけど、先生方の説明が分かりやすく楽しく勉強できた。」
- ・「みんなで協力する活動もあり、友達と仲良くなるきっかけとなった。」

[保護者・県母子寡婦福祉連合会・学習支援ボランティア講師の感想]

- ・「実力テストの直前だったので、参加させてもらってよかった。」
- ・「今年が最後のチャンスのキャンプでした。いやがる子供を口説いてきましたが、結果、新たな交流もあり、充実していた。」
- ・「子供たちがほどよく勉強でき、気分転換もでき、よかったと思う。」
- ・「事前打ち合わせをして、内容把握をする必要があると思う。次回からはぜひ、行ってほしい。」
- ・「ボランティア講師の意向を受け、プログラムの変更等、臨機応変に対応できてよかった。」